

## 「戦争法」廃止へ市民と4野党がスクラム

平和とくらしに逆行の安倍暴走政治の転換へ共同広がる！



3月19日・「戦争法」廃止をめざす岐阜県  
総がかり集会（1200人）に参加した鈴木  
愛子議員（集会では4野党が並んであいさつ）

戦争参加を許すか、平和を守るか…  
参院選の大争点

「国会で多数の議席をもつ政権党（自公）こそ憲法は守らなければならない、権力は憲法によって縛られる」これが立憲主義の基本です。

この憲法を踏みにじり安民法制（戦争法）を強行した安倍政権を打倒し、戦争法を廃止しよう！と今、国民と野党4党が共同して7月の参院選をたたかおうとしています。日本共産党はその一翼として全力で頑張っています。

## 平和と子どもたちの未来のために… 参議院選挙～「戦争法」廃止めざす日本共産党にご支援を！

いよいよ7月の参議院選挙まであと三ヶ月とせまってきました。平和とくらしを守る日本共産党へのご支援をお願いいたします。

比例代表選挙では…  
8議席以上をめざします

日本共産党は比例代表選挙では、850万票・8議席以上をめざします。前回の2013年比例選挙では515万票で3議席から5議席へ躍進しました。

選挙区選挙では…  
「野党共闘」をめざします

選挙区選挙では全国で13ある複数選挙区（定数2～6）では党として議席めざし頑張ります。

また一人しか当選しない一人区は全国で32選挙区ありますが、これらの選挙区では「戦争法」廃止の公約掲げ「野党共闘」をめざしています。

岐阜県では今回から定数が2議席から1議席へ定数減となります。日本共産党は「戦争法」廃止の実現へ、野党共闘と県民運動へ全力をあげています。

### 神戸町のまちづくり

「こんな予算ができました」

◎女性が住みたくなるまちプロジェクト  
（新規・130千円）

◎養老鉄道運営維持費補助金  
（48,200千円）

◎乳幼児福祉医療費（子どもの医療費）  
（33,800千円）

◎ばらタクシーサービス事業  
（16,800千円）

◎どんとこい祭り事業交付金  
（11,000千円）

◎コンビニ設置用AED購入事業  
（3,300千円）

◎小中学校全普通教室（60室）に  
電子黒板設置など  
（19,005千円）

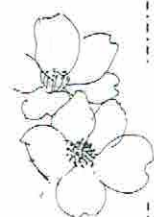
### ◎すくすくベビー券交付事業

（4,560千円）

4月1日以降に誕生した乳児に対し、満一歳まで3万円を上限としておむつやミルク代にあてる買い物券を交付する事業です。

（以上ごく一部の紹介です）

「戦争法」廃止の2000万署名にぜひご協力を！



## 介護や学童保育の充実で提案

鈴木愛子議員



3月定例議会が3月17日閉会しました。

今議会では66億9000万円の一般会計予算(前年比マイナス3000万円)などが審議、可決されました。

(注目される施策は表面で紹介)

一般質問に立った鈴木議員は以下三点について提案し、見解を求めました。

- ① 18歳以上選挙権行使への必要な援助について
- ② 「放課後児童クラブ」開設時間延長の課題
- ③ 介護保険制度の現状と課題

### 「18歳以上選挙権」行使に必要な援助を

本年7月に予定される参院選から初の18歳以上の選挙権が行使されます。全国で全有権者の2%に相当する240万人余が新たに有権者となる予想です。

ただ近年20代の若者の投票率は30%前後と低い状況を重視した鈴木議員は、投票率を高めるために行政が選挙の意義などを広報やチラシで系統的にアピールする必要があるのではないかと見解を正しました。

これに対し町長は、本町では約360人が新たな有権者として加わることになるを紹介。そして今各自自治体では若年層向けの啓発パンフの配布、インターネットを利用した啓発など努力されているとし、今後も選管でも十分検討していくと答弁しました。

### 「放課後児童クラブ」の開設時間延長の検討を

働くお母さん方が増えており、「放課後児童クラブ」へ



の期待が高まっていることをうけて鈴木議員は、この間児童クラブを充実させている行政努力を評価しつつ、さらに開設時間の延長も検討すべきではないかと提言。

これに対し町長は、保護者の方へのアンケートでも時間延長や土日の開設などの要望があることを承知しているとした上で、今後指導員の確保や勤務体制などをふまえて検討していきたいと答えました。

### 介護制度を後退させるな

介護保険制度の改定で、要支援1・2の方は「訪問型ヘルプサービス」と「通所型デイサービス」の二つが保険からはずされ、町の地域支援事業に移されることによる影響を憂慮する鈴木議員は、町の対策の現状を正しました。

これに対し町長は、移行する二つの事業は新しい「介護予防・日常生活総合事業」として引続き契約・提供いただく準備をしていると答弁。また特養ホームの待機者は昨年6月時点で94名にのぼることを明らかにしました。

## 養老鉄道の存続決まる 沿線7市町が近鉄と合意

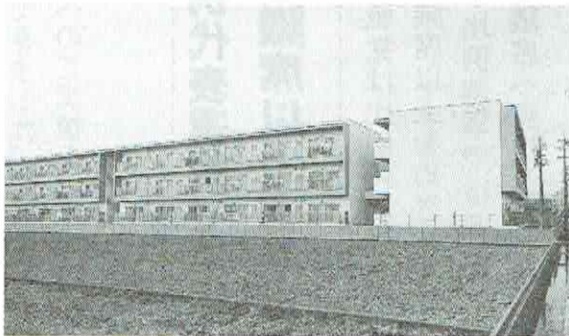
今後の運営方針などで3月中をメドに協議されてきた「養老鉄道」の存続問題は、3月1日に存続することで基本合意しました。その内容が3月6日神戸町議会特別委員会で報告されました。

これによると、「養老鉄道」の新たな運営方式は、運行はこれまでどおり養老鉄道が行い、鉄道施設などは平成29年中を目途に沿線自治体などが新たな設立をめざす法人が管理するという「上下分離方式」とするという内容など7項目での合意となっています。

### 利用者増やすための努力が課題

これまで鈴木愛子議員は議会質問や町交渉を通じて、利用者の拡大へトイレ設置や駐車場確保など提案してきましたが、引き続き利便性を高める努力や「養老鉄道」が今後の町の発展になくはならない公共交通であるという認識を町と住民が一層高めあうことが求められています。

## 町の話



「あの3階建ての建物は何?」。長きにわたり懸案となってきた町営住宅(50戸)が北一色地内について完成、この3月いっぱいに移転・入居が完了しました。

いままでの住宅は老朽化がひどく新築が待たれていました。  
(上記写真は北神戸駅付近から)

市田忠義党副委員長・参院議員来演  
日本共産党大演説会  
5月14日午後2時～  
岐阜市文化センター